

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年9月1日

【評価実施概要】

事業所番号	1193100078
法人名	株式会社 寿エンタープライズ
事業所名	グループホーム草加
所在地	〒340-0051 埼玉県草加市長栄町560 (電話)048-946-7270

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年9月30日

【情報提供票より】(平成20年9月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 12人、非常勤 10人、常勤換算 9人	

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り 2階建ての1階～2階部分
------	------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	73,000 円	その他の経費(月額)	25,000円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要(9月10日現在)

利用者人数	17 名	男性 3 名	女性 14 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	10 名	要介護4	4 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84 歳	最低 72 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	越谷成和病院、康寧会訪問歯科、平田クリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街の中に溶け込むようにホームがある。ホームの隣には温泉を引いたデイサービスセンターがあり、デイサービスセンターの状況に応じて、足湯を中心に温泉を利用することもある。2階には広いベランダがあり、お茶を飲んだり体操をする時に利用している。近くに畑を借り、庭にもさやかな菜園があり、収穫を楽しみ、収穫物が食卓にのぼっている。職員は利用者一人ひとりのペースを大切に、習字や縫い物をしたりと、利用者は思い思いに過ごしている。家族にはホーム便りのほか個人の様子を書かれた手紙も添えられて、日常の様子に分かるように工夫がされている。家族の面会は毎日あり、家族会も2か月に1度定期的に開かれ、日々の様子分かるアルバムがリビングに置かれるなど、家族との信頼関係作り寄与している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>介護計画の見直しに関しては、ケアマネージャーを中心に定期的に行われている。アセスメントはまだ十分とは言えないながら、見直し時期に職員間で評価し、家族の要望を聞き取り、次の介護計画に活かしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員で取り組んで評価しているが、ユニットごとにADLの状態が違い、必然的に異なるケアがされているにもかかわらず、同じ評価になってしまっている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>前年度の運営推進会議は1回の開催のみであったが、今年度は2回開催されており、地域包括支援センターや自治会、民生委員、家族などが参加している。なお、会議の議題を明確にすることが期待される。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族には毎月、ホーム便りと個人の様子を書いた手紙、時には本人の手紙などを添えて送っている。面会も毎日のようにあり、家族がホームの職員に希望や要望を伝えやすい雰囲気がある。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>公園の空き缶拾いや草むしりをして地域に溶け込む努力をした結果、自治会に加入することができた。近隣の方と仲良くなり、災害時には頼りにしていることを伝えている。散歩中には、畑の野菜や庭の果物をおすそ分けしてもらったりと良好な関係を築いている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	3つの分かりやすい理念を掲げ、地域に根ざしたホームを理念の一つに挙げており、利用者の生活環境につながる地域との関わりを大切にするように意識している。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	言葉だけではなく理念の実践がなされている。理念を玄関等に掲示するとともに、職員会議や毎日の申し送り等に、普段実践しているケアを振り返りながら、職員間で確認している。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域に溶け込めるように公園の空き缶拾いをしたり草むしりをしながら、2年かけて地域に受け入れてもらえるようになり、今年念願の自治会にも加入することが出来た。散歩中には民生委員や近所の方に声をかけられたりしており、良好な関係を築きつつ交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価に取り組んだが、昨年の外部評価を活かす取り組みまでには至っていない。		評価への理解を深め、前年の評価結果を今年に活かせるよう取り組まれることが望まれる。また、評価を今後のケアに活かすためにも、自己評価には各ユニットごとに具体的な取り組みについて記入することが期待される。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年度の運営推進会議の開催は1回にとどまっていたが、今年度は現在までに2回開かれている。ホームの理解につながるような報告や話し合いまでには至っていない。		民生委員や自治会、地域包括支援センターの方などが参加しているので、せっかくの機会を逃すことなく、会議には議題を挙げてホームの理解に努めてもらえるような報告をして、今後の応援団になってもらえるよう取り組まれることが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政には、講座を開いてもらえるよう働きかけたり、ホームの日報の提出、空き状況などの報告のほか、まめに訪問し連絡を取り合いながら連携に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、ホーム便りと、担当ケアワーカーによる一人ひとりの利用者の日々の生活を知らせる手書きの手紙が、金銭出納帳とともに送られている。時には、利用者自身の手紙も同封する場合もある。その他、面会時の報告や電話連絡などもしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2か月に1度、行事のある日に家族会を開催して、要望等を聞くように努めている。また、家族の面会も頻回にあり、話しやすい雰囲気づくりに努めて要望等を聞くようにしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理職の異動の場合は、本部から家族宛に連絡をしており、一般職員の異動については、ホーム便り等で知らせている。また、利用者には、ダメージを与えないように状態に応じて伝える工夫をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の希望を聞き、希望通りの研修に出席できるように配慮している。研修に参加した場合は、他の職員に報告することで周知を図っている。後輩の職員へのOJTも日常的に行われている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のホーム同士では研修などでの交流が活発に行われている。また、草加市に6か所のグループホームがあるため、行政に働きかけて情報共有などしたいと伝えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	行事に参加してもらったり、お茶の時間に来てもらって雰囲気慣れてもらうようにしている。また、家庭にも2~3回、ホーム長やケアマネージャー、スタッフなどが訪問して、徐々に馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者から教えてもらったり、利用者の得意とする仕事を頼んだり、協働しながら過ごす人間関係を大切に一緒に生活を送っている。職員は謙虚な姿勢を心がけ、互いに支えあう関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時に生活歴を聞いたり、介護計画時に家族から希望を聞いたりしている。また、日々利用者とかかわっている中で、本人の行動や表情を見ながら思いを引き出すように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアカンファレンスを定期的に行っており、職員間で話し合って介護計画が作成されている。職員は本人の思いを把握することに努めているが、アセスメントに上手く活かされていない。		家族からの要望なども含めこまめに記録して共有し、介護計画に充分活用されることが期待される。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しがされている。こまめに介護計画を見直して評価し、次の計画につないでいる。また、評価の時には、家族にも再度希望や要望を聞くようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	できるだけ要望にそえるよう、 家族等の状況に応じた支援に 努めている。ホームには看護 師の資格を持った職員がいる ため、医療面での早期の対応 が図られている。また、隣に あるデイサービスが温泉を入 れたときは大浴場を利用して 温泉気分を満喫することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	かかりつけ医が定期的に往診 してくれるほか、相談にも乗 ってくれており、適切な医療 が受けられるよう、必要に応 じて医療機関の紹介もしてく れる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針 の共有 重度化した場合や終末期の あり方について、できるだけ 早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と 繰り返し話し合い、全員で 方針を共有している	家族と話し合いを持っている が、ホームの職員間で終末 期に関する十分な話し合いが できていないため、方針を 共有して家族に提示できる までには至っていない。		今後増えていくであろう終 末期のあり方について、ぜ び職員間で繰り返し話し合 いをもち、出来ること、出 来ないことの確認をして、 方針を共有することが望ま れる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバ シーを損ねるような言葉か けや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを損 ねることのないよう、さりげ ない声かけや対応に配慮し ている。写真が載っている ホーム便りは、外部に向けた 広報としては使うことは無 く、写真掲載に関しても了 解を取っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優 先するのではなく、一人ひと りのペースを大切に、その 日をどのように過ごしたい か、希望にそって支援して いる	マイペースを守りながら、 皆と過ごせる時間を持てる ような工夫をしている。一 人で過ごすことが多い方 には、無理に皆の中に引き 込むことはせず、お茶や 食事時に声かけをして、 状況に合わせて一緒に活 動してもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員もおしゃべりを楽しみながら一緒に食事をしている。食事が楽しめるよう食器にも配慮しておしゃれな物が使われている。食後は、利用者の持っている力に合わせて、食器を片付けたり拭いたりしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴される方もいる。なかなか入れない方には足浴をしたり、言葉掛けを工夫したりして、せかしたり無理強いせず、本人の気持ちを汲み取りながら入浴できるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホームの中で、習字が得意な方に書き物を頼んだり、縫い物が得意な方に雑巾を縫ってもらったりしている。日常的に、さりげなく役割や楽しみごとのある場面づくりをして、張り合いのある生活になるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩に出かけることを楽しみにしている方が多い。時には畑に行き野菜を収穫するなど、できるだけ戸外に出かけられるように支援している。利用者自身も食欲旺盛で元気に暮らしており、よく外出して運動もしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や階段へのドアには鍵をかけておらず、利用者が自由に出入りできるようになっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署に依頼しての避難訓練は、年に2回行われている。それ以外にも毎月定期的に避難訓練が行われており、町内会や自治会の方たちにも協力を仰いでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のカロリー計算がされ、食事量と水分摂取量は記録されている。ミキサー食にしたり荒く刻んだり、利用者一人ひとりの状態に合わせて対応している。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全体の中心が大きな明るい台所になっていて、料理の音や美味しそうな匂いがしている。南には大きな吹き出し窓があり明るく、窓の下には野菜が実をつけている。風呂場のそばには畳の空間があり、少し休めるようになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭で使用していた馴染みの家具等が持ち込まれている。他にも仏壇や家族写真が置いてあったり、畳が敷いてあったりと、その人らしい部屋となっており、本人が安心して暮らせるように工夫されている。		